

Topics

「地域とともにある学校づくり」が認められ…

平成30年度「地域学校協働活動」に係る文部科学大臣表彰において、泉小学校区地域学校協働本部が受賞しました。

「地域学校協働活動」とは、地域全体で次代を担う子どもたちを育成するために、地域と学校が連携・協働し、地域の教育力の向上を図り、社会総がかりでの教育の実現を目指すことを目的に、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動のこと。

今回、泉小学校区地域学校協働本部の活動が他の模範になると認められ、その功績を称え表彰されました。



▲芝地域コーディネーター(写真右)と筒井教育長(写真左)

Topics

平成最後の新春を飾る白熱した対局

「第52回新春囲碁将棋大会」は1月6日、日吉住民センターで開催されました。

新春恒例のこの大会には、町内外から19人の愛好家が集結。碁盤、将棋盤を見つめる表情は真剣そのもの。参加者たちは長時間にわたり熱戦を繰り広げ、愛好家同士の交流を深めていました。

主な結果は次の通りです。

【囲碁の部A級】①松本俊一(五月会)②亀井重久(五月会) 【囲碁の部B級】①芝甫(五月会)②大崎五郎(城川囲碁会) 【将棋の部】①松瀬一彦②西川充也



▲会場内で繰り広げられる熱い対局

Topics

高く燃える炎に無病息災を祈願

正月飾りやお守りなどを燃やし、歳神様を空に送るとされている「どんど焼き」。毎年、年始の時期に町内各地区で行われています。

愛治地区では1月13日に開催。愛治活性化集団「来夢」が用意した高さ約5メートルものやぐらに多くのしめ飾り等が投げ込まれ、参加した人たちは今年1年の無病息災を祈願していました。



▲やぐらに火入れを行う代表者たち

Topics

唯一無二の土鈴づくり

1月7日、児童クラブで毎年恒例の土鈴づくりが行われました。

わかば作業所の職員を講師に迎え、平成31年の干支である亥をかたどった白い土鈴を絵の具で思い思いに彩る子どもたち。真剣な様子で丁寧かつ大胆に絵付けを行い、個性豊かな土鈴を完成させていました。



▲先生に教わりながら細かい作業に挑む子どもたち